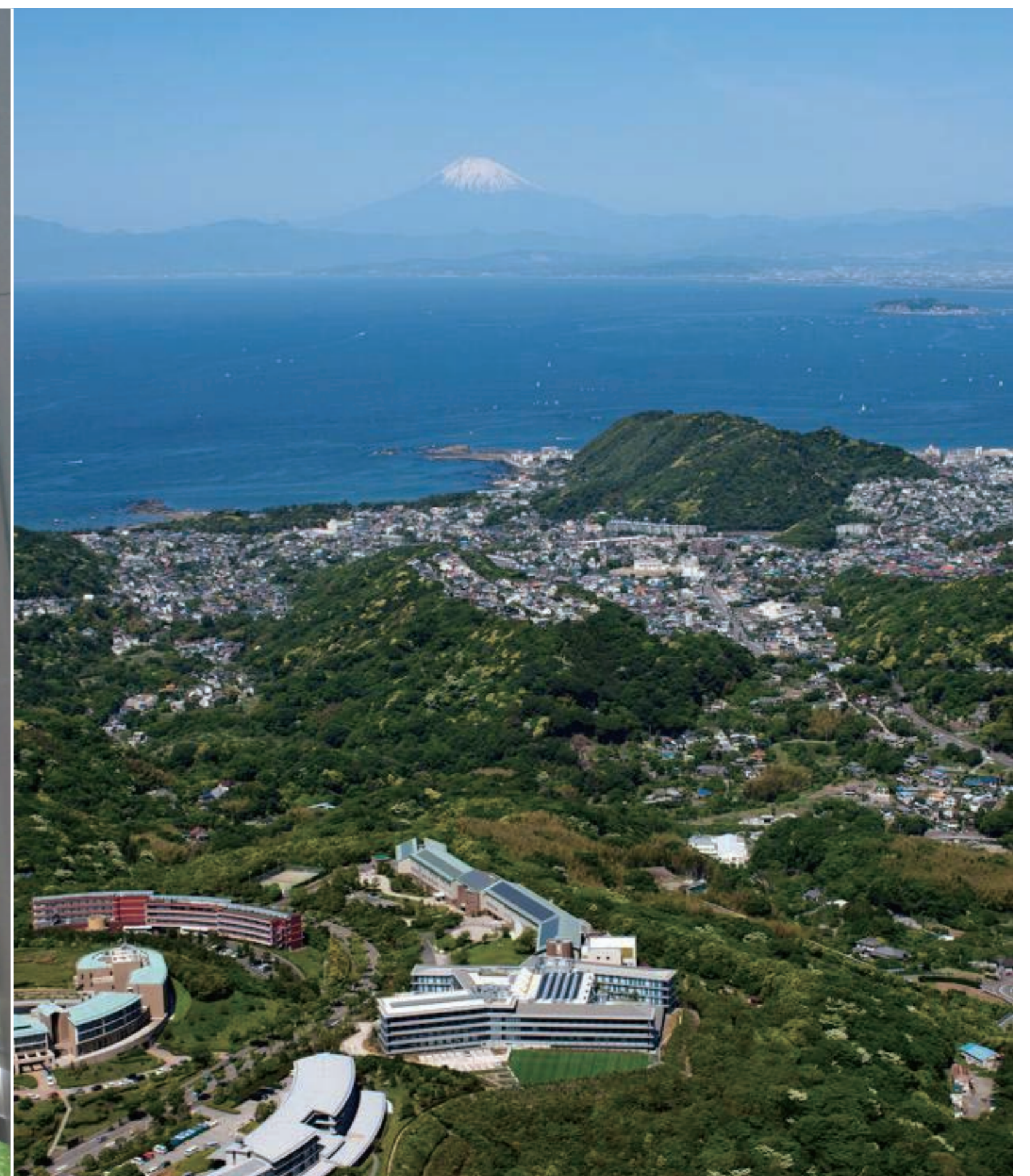


一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構理事長賞

主催：一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構

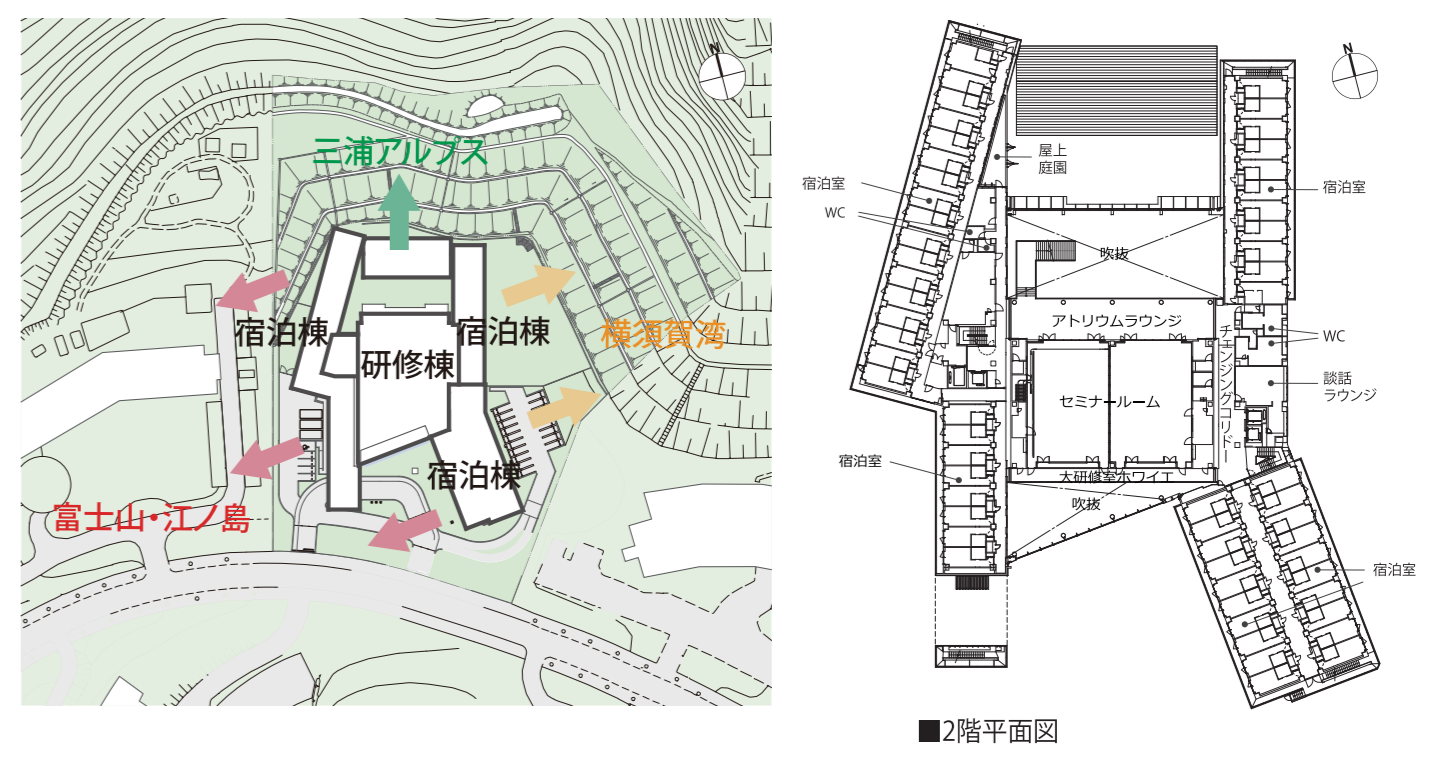
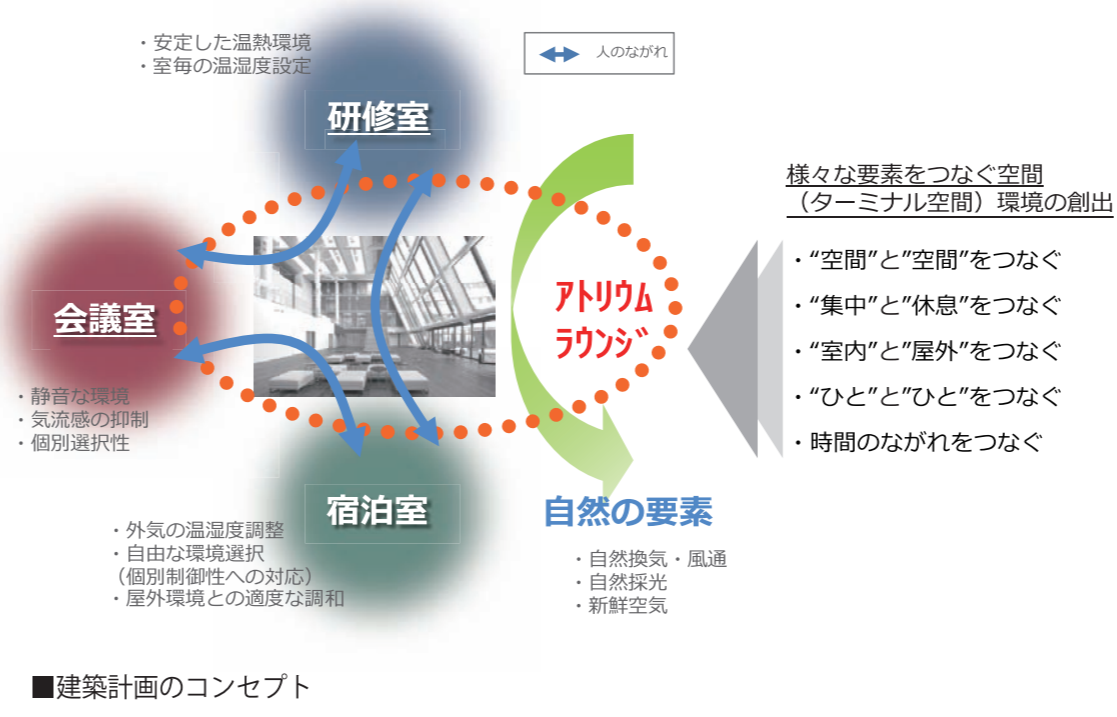
NEXUS HAYAMA



NEXUS HAYAMA 多目的滞在型交流施設

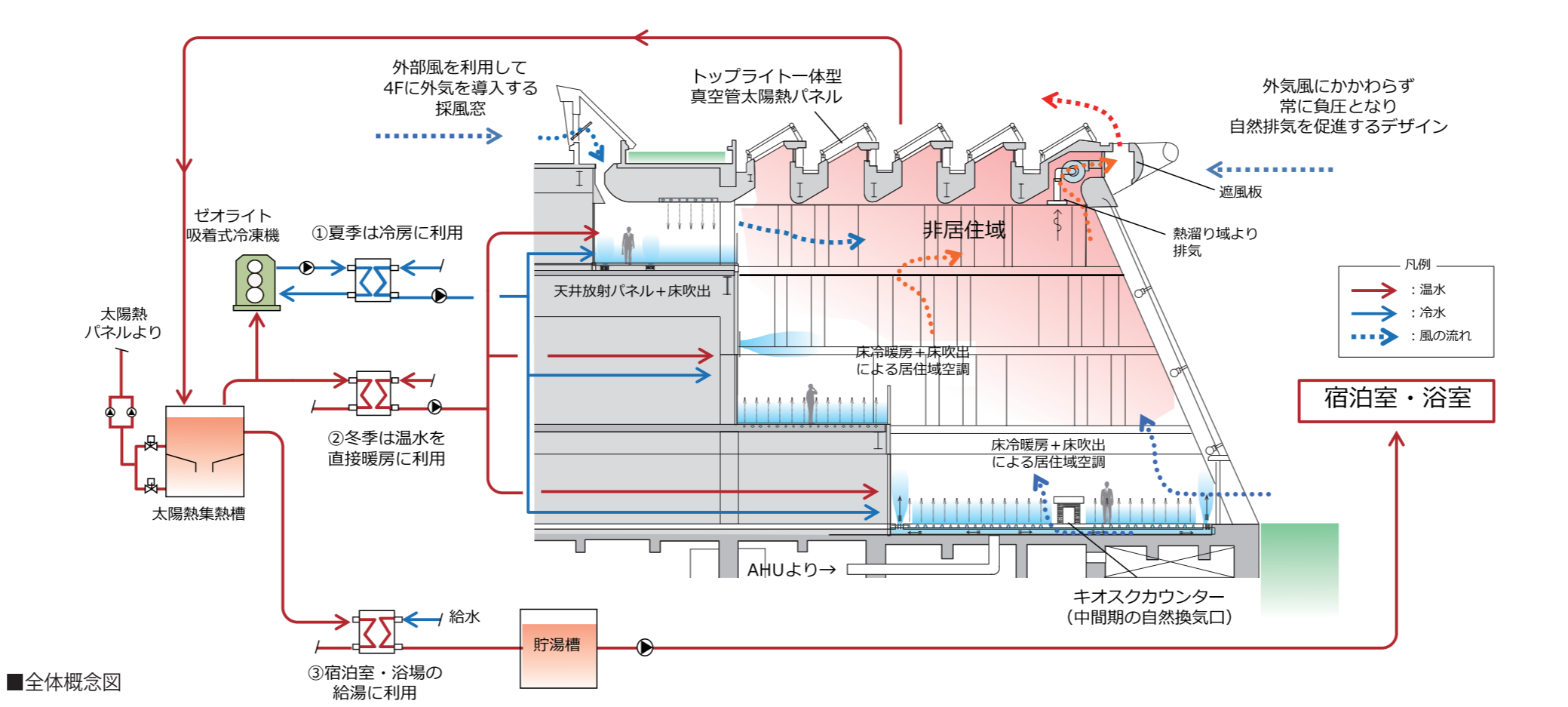
豊かな自然環境と眺望を活かした持続可能な研修環境の実現

NEXUS HAYAMA は、西に江ノ島・富士山を、東に横須賀湾を臨む眺望と豊かな自然に恵まれた神奈川県山崎町の湘南国際村に位置する、第一三共株式会社の研修施設である。立地特性を最大限に活かし、長期滞在の研修を効果的に行うための空間が求められた。建物配置は、宿泊棟を地形に沿うように東西に、研修棟を宿泊棟の中央に配置し、周辺施設からの眺望を阻害しらずに圧迫感を与えずに、190室全ての宿泊室から富士山や横須賀湾への良い眺望が得られる配置とした。建物中央のアトリウムラウンジは光あふれる明るい大空間となり、人と緑が立体的に連続する新しい交流空間が実現した。施設の中央に配置された「アトリウムラウンジ」は、各セミナールーム前に配置されたラウンジが3層に渡りステップ状に連続し、利用者が一体的な空間を共有することで、インフォーマルコミュニケーションを誘発することを意図した空間である。トップライトから降り注ぐ木漏れ日のような拡散光や、北側に広がる三浦アルプスの美しい眺望、空間的に連続するパティオ、屋上庭園など、自然からの心地よい刺激にあふれた半屋外の空間とすることで、利用者をリフレッシュさせる快適な空間を実現している。長期滞在による研修にも対応するため、豊かな眺望とプライバシーを両立した個室と、各階に用意された談話ラウンジ、デッキテラスを伴うカフェテリア、大浴場、フィットネスなど、厚生諸室を館内適所に配置することで、セミナールームでの会議・研修時における緊張（ON）と休息（OFF）がアトリウムラウンジを中心とした移動の間に緩やかに切り替わる構成とした。トップライトルーバーとしても機能する太陽熱利用システムをはじめとした、多様な環境配慮技術により、施設全体で約30%のCO₂削減を目標とし、CASBEE（2008年度版）において、自主評価でSランク相当の環境建築となった。これから長い年月を経て、菓山の雄大な風景と自然の一部となるような建築を目指した。

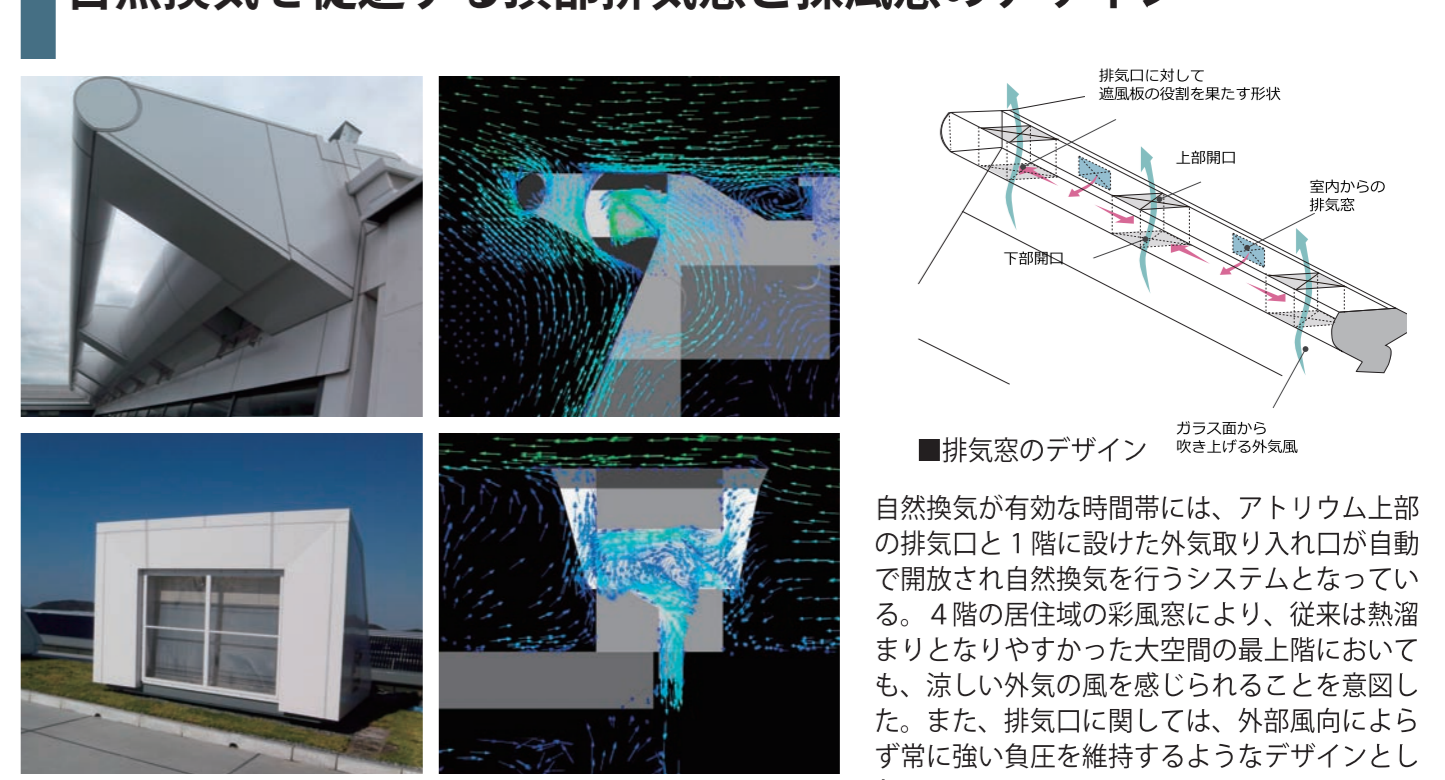


■アトリウム空間にデザインされた再生可能エネルギー活用システム

アトリウムラウンジは、利用者の交流を促進する空間として計画された。研修室の稼働は月によって大きな変動があるのに対して、アトリウムラウンジなどの共用部は年間を通して環境を制御する必要がある。その結果、稼働率が下がる時期は共用部の消費エネルギーの占める割合が大きくなる傾向にある。そこで、利用者の交流を促進する共用部環境をローエナジーで維持していく事をコンセプトの一つとしている。中間期は自然換気により半屋外のような気持ちの良い空間とし、夏期・冬期は居住域空調による効率的な空調とすることで年間を通じた快適な交流空間を実現する事を目的とした。



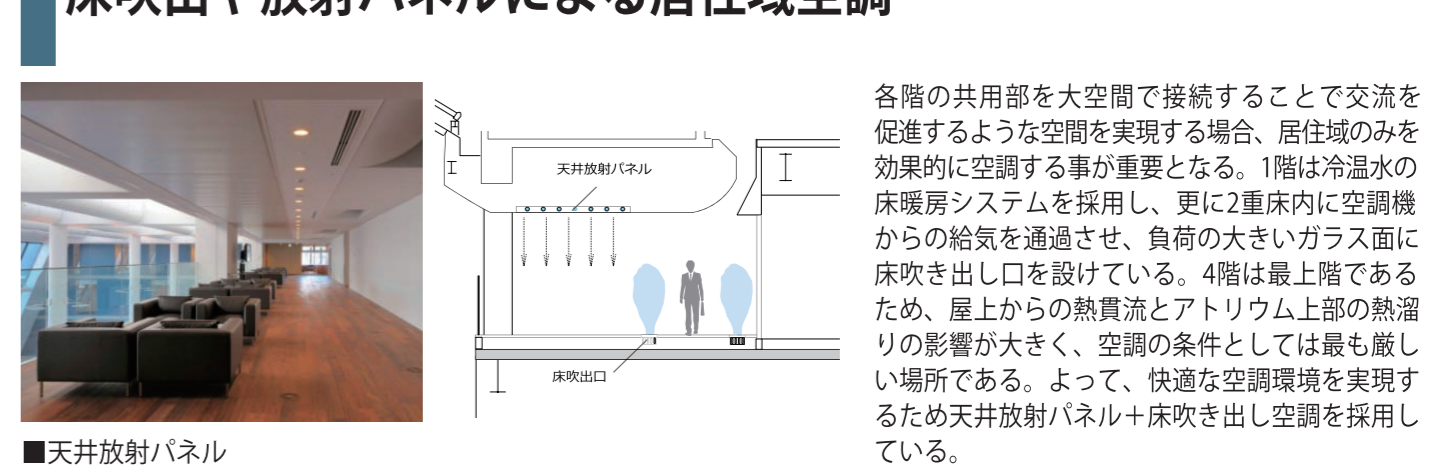
■自然換気を促進する頂部排気窓と採風窓のデザイン



■建築空間・部材と一体化させた換気給気口のデザイン

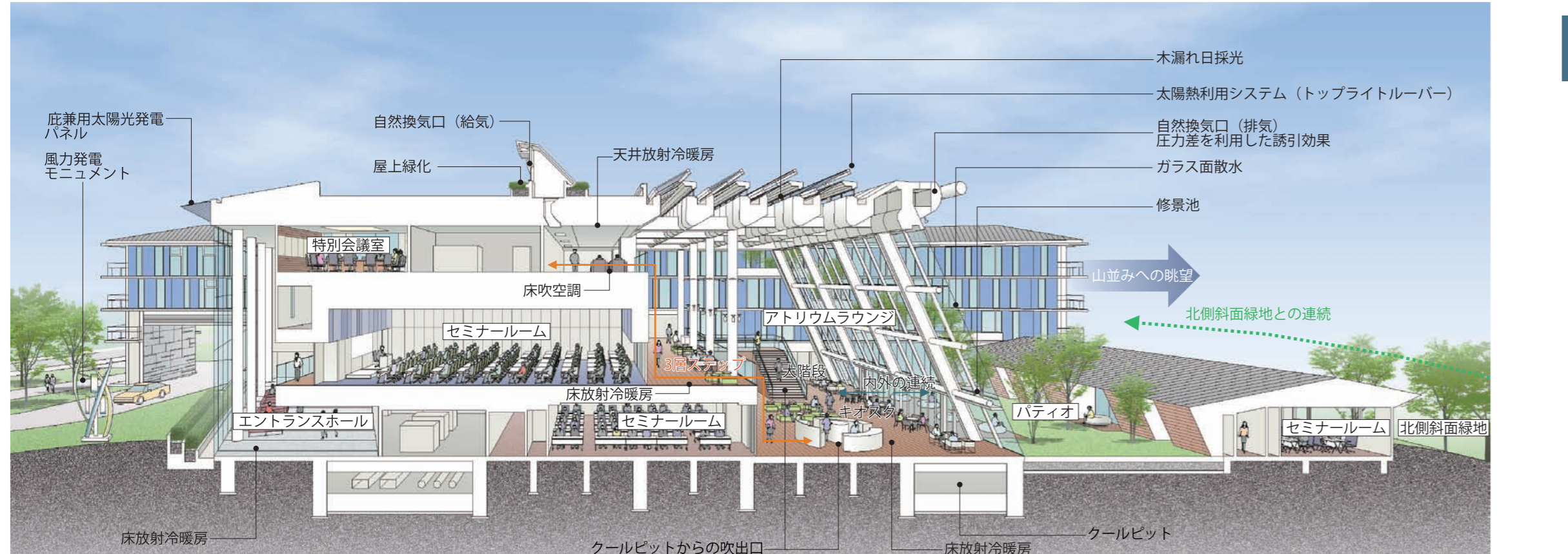


■床吹出や放射パネルによる居住域空調

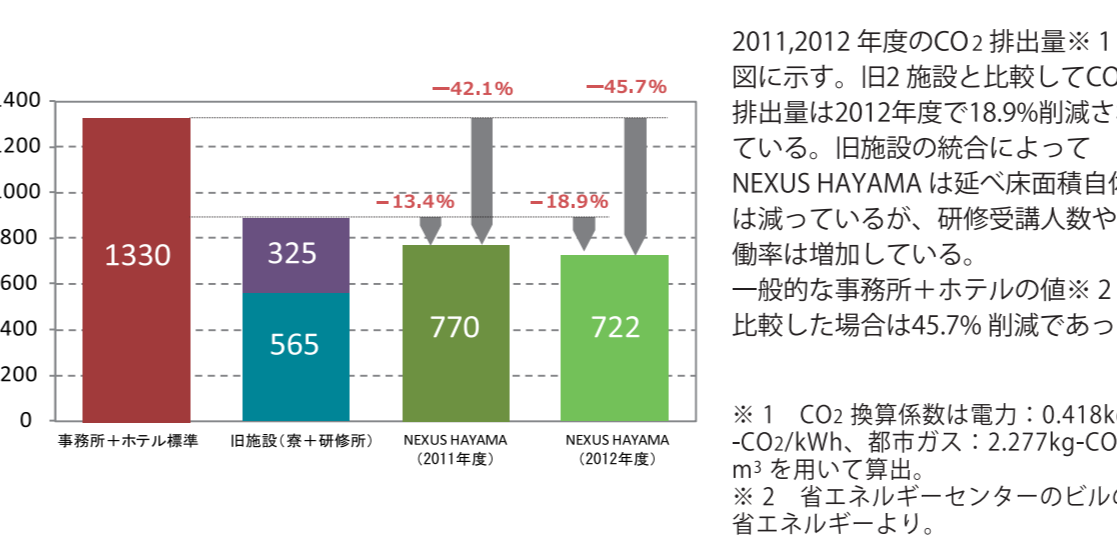


■導入された環境技術と実績値による検証

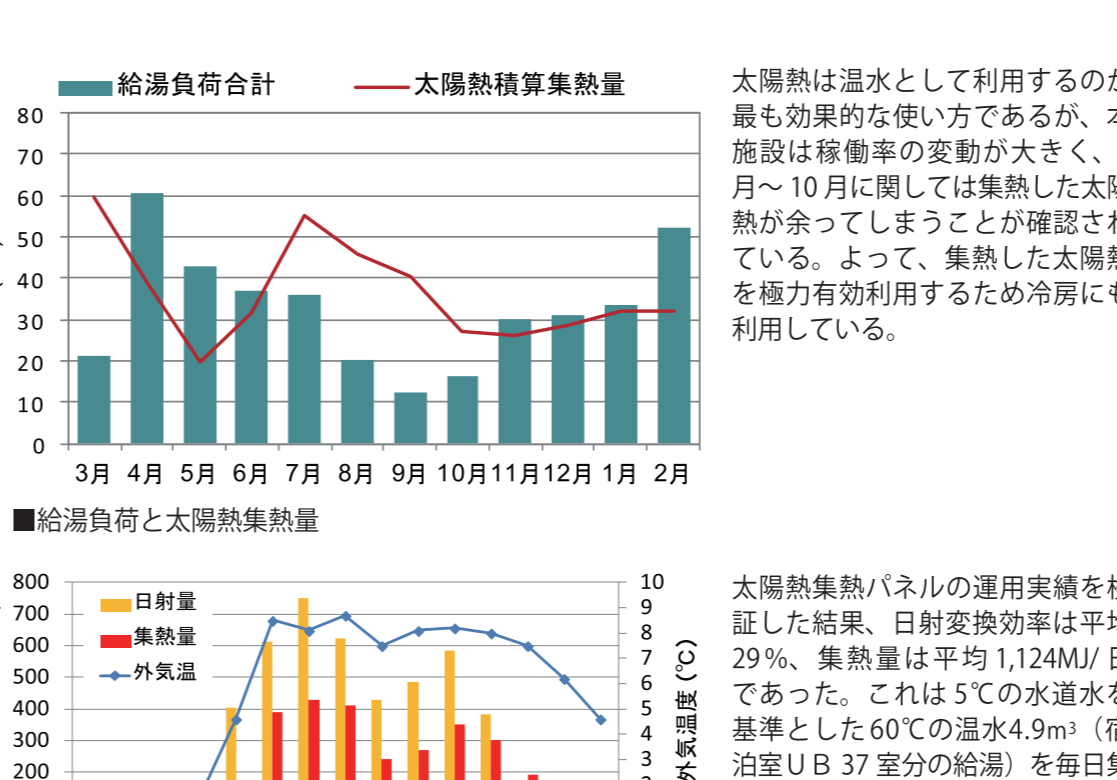
- 太陽熱利用システム
 - トップライト部に設置し、宿泊室給湯負荷やアトリウムの空調に利用する。
- 放射冷却暖房
 - 国際会議場・4Fアトリウムラウンジに天井放射パネルを設置。
- 太陽光発電
 - 環境モニュメントとして、一体型の太陽光発電を設置。
- 自然換気システム
 - 中間期は積極的に自然換気を行い、空調機の運転を停止する。
- ガラス面散水
 - 光触媒処理をしたガラス面に散水を行うことにより、夏季の冷却効果とガラス面洗浄を同時に行う。



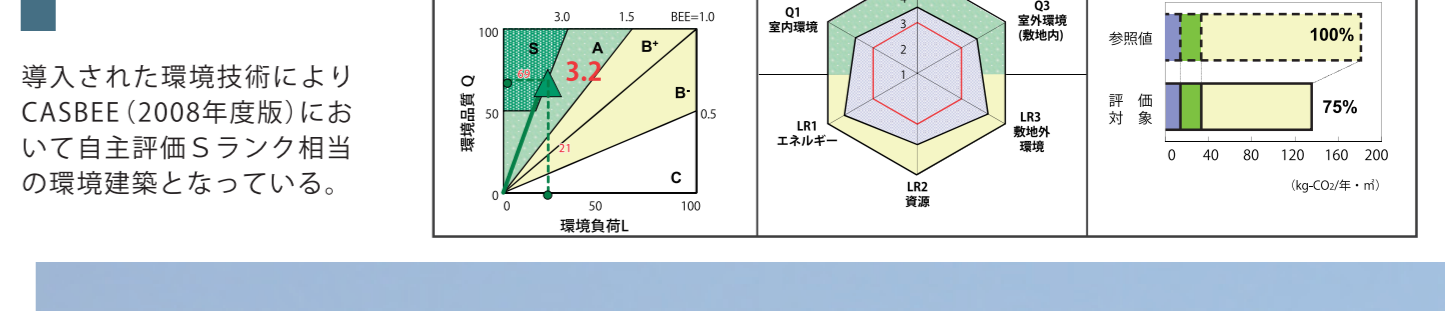
■環境性能の検証



■太陽熱利用システムの運用実績



■環境性能評価



■建物名称：NEXUS HAYAMA

■建築主：第一三共株式会社
■設計者：株式会社日本設計
■施工者：清水建設株式会社
■建物概要

計画地：神奈川県三浦郡葉山町上山口字間門
1560番43.104.105
(湘南国際村センター内)
敷地面積：19,548.50 m²
建築面積：4,619.58 m²
延べ面積：12,835.78 m²
構造：RC造・S造 一部SRC造
基礎工法：直接基礎・杭基礎
階数：地上5階
駐車台数：23台
最高高さ：14.99 m

- 吸着式冷凍機
 - 比較的低温（60℃）の温水から冷水を製造することが可能なゼオライト吸着式冷凍機によって夏季のアトリウム冷房を行う。
- クールリット
 - 年間安定した地中の熱を利用し、クールリットによる外気予熱を行う。
- LED照明
 - 照明消費電力が少ないLED照明の中で、ダウンライト型をトイレなどに採用。また、一部居室でストレート型も採用。
- 雨水再利用
 - 水資源の有効利用のため、雨水をビッドに貯留し、る過を行ってトイレ洗浄水として再利用する。